

令和6年度 年間授業計画

教科	科目	創造理数科
国語科	言語文化	
学年	単位数	
1学年	2単位	
教科担当者		
高井路子		
使用教科書		
数研出版「高等学校 言語文化」		

教科の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元名：古文の世界を楽しむ/児のそら寝</p> <p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 歴史的仮名遣い 現代語と古語の違い 用言の活用 児の心情</p> <p>・教材 古文・漢文と一緒に学ぶ 古典の手引き (い い ずな書店) みるみる覚える古文単語 (い い ずな書店) プレミアムカラー国語便覧 (数研出版)</p> <p>・一人1台端末の活用 等 Formsを用いて確認テストを実施</p>	<p>【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	○	○	○	28
定期考査			○	○		
<p>単元名：日本語の中に生きる漢文/入門一、入門二</p> <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 訓読の基礎 再読文字・助字・置き字</p> <p>・教材 古文・漢文と一緒に学ぶ 古典の手引き (い い ずな書店) みるみる覚える古文単語 (い い ずな書店) プレミアムカラー国語便覧 (数研出版)</p> <p>・一人1台端末の活用 等 Formsを用いて確認テストを実施</p>	<p>【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。</p>	○	○	○	
定期考査			○	○		
<p>単元名：故事と成語/朝三暮四</p> <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 再読文字・疑問の句法 本文のおもしろさを読み取る</p> <p>・教材 古文・漢文と一緒に学ぶ 古典の手引き (い い ずな書店) みるみる覚える古文単語 (い い ずな書店) プレミアムカラー国語便覧 (数研出版)</p> <p>・一人1台端末の活用 等 Formsを用いて確認テストを実施</p>	<p>【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、自分の解釈を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。</p>	○	○	○	
定期考査			○	○		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
	<p>単元名：受け継がれる古文/今昔物語集</p> <p>【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 近代小説とその典拠となった古典文学との相違点を探り、その相違が近代小説にどのような効果をもたらしているかを考える。</p> <p>・教材 古文・漢文と一緒に学ぶ 古典の手引き（いわずな書店） みるみる覚える古文単語（いわずな書店） プレミアムカラー国語便覧（数研出版）</p> <p>・一人1台端末の活用 等 Formsを用いて確認テストを実施</p>	<p>【知識・技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く『羅生門』と『今昔物語集』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。</p>	○	○	○	
	<p>単元名：受け継がれる古文/羅生門</p> <p>【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 作品の内容を踏まえて、主人公のその後を想像し、自分の考えを文章にまとめる。</p> <p>・教材 古文・漢文と一緒に学ぶ 古典の手引き（いわずな書店） みるみる覚える古文単語（いわずな書店） プレミアムカラー国語便覧（数研出版）</p> <p>・一人1台端末の活用 等 Formsを用いて確認テストを実施</p>	<p>【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。</p>	○	○	○	
	定期考査			○	○		
2 学 期	<p>単元名：読み継がれる歴史/先従随始</p> <p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 史伝教材の特性を活かし、文章の成立した背景を踏まえた読解力を身につける。</p> <p>・教材 古文・漢文と一緒に学ぶ 古典の手引き（いわずな書店） みるみる覚える古文単語（いわずな書店） プレミアムカラー国語便覧（数研出版）</p> <p>・一人1台端末の活用 等 Formsを用いて確認テストを実施</p>	<p>【知識・技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 進んで作品を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。</p>	○	○	○	32
	<p>単元名：論語とその注釈</p> <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 『論語』と日本の言語文化とのかかわりについて理解を深めさせる。</p> <p>・教材 古文・漢文と一緒に学ぶ 古典の手引き（いわずな書店） みるみる覚える古文単語（いわずな書店） プレミアムカラー国語便覧（数研出版）</p> <p>・一人1台端末の活用 等 Formsを用いて確認テストを実施</p>	<p>【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 進んで作品を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。</p>	○	○	○	
	定期考査			○	○		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	<p>単元名：平安宮廷文学の世界/雪のいと高う降りたるを（枕草子）</p> <p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 定子が何を問いかけ、清少納言がどのように応じたのかを読み取らせる。 敬語の基本的な用法を習得する。</p> <p>・教材 古文・漢文と一緒に学ぶ 古典の手引き（い い ず ぬ 書 店） みるみる覚える古文単語（い い ず ぬ 書 店） プレミアムカラー国語便覧（数研出版）</p> <p>・一人1台端末の活用 等 Formsを用いて確認テストを実施</p>	<p>【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く『枕草子』と『白氏文集』の主題の違いを考え、今までの学習を活かして話し合いに参加しようとしている。</p>	○	○	○	18
	<p>単元名：和歌による心の交流/東下り（伊勢物語）</p> <p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 それぞれの場面とそこで詠まれた歌の内容を読み取り、序詞・掛詞等を用いた巧みな表現で心情を表す和歌の手法を学ぶ。</p> <p>・教材 古文・漢文と一緒に学ぶ 古典の手引き（い い ず ぬ 書 店） みるみる覚える古文単語（い い ず ぬ 書 店） プレミアムカラー国語便覧（数研出版）</p> <p>・一人1台端末の活用 等 Formsを用いて確認テストを実施</p>	<p>【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き、今までの学習を活かして本文全体を解釈しようとしている。</p>	○	○	○	
	定期考査				○	○	
合計							78